



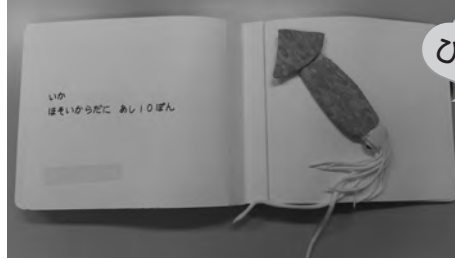
ボランティア センターだより

編集・発行 泉南市ボランティアセンター 泉南市ボランティア連絡協議会
泉南市樽井一丁目8番47号 TEL 072(483)0294 FAX 072(483)0353
泉南市総合福祉センター(あいびあ泉南)3階 sennan-shi-vc@sennan-shakyo.or.jp

2016. 11
しも つき

霜月 **83**号

支えられたり
支えたり



さわって
びっくり!

見える子も見えない子と一緒に楽しめる 「さわる絵本」

「さわる絵本」製作グループの初作品は『じゃあじゃあ びりびり』という絵本です。その後8冊5タイトルを完成させました。オリジナルの『うみのなかまたち』という絵本では、アサリ・タコ・イカなど海の生き物が本物に近い手触りで感じられます。

絵本を手にとる人が、さし絵に出てくる動物や物を撫でたり、つまんだりして形を確かめられるように、本物に近い手触りを求めて、布・厚紙・ビニールひもなど素材探しには苦労するそうです。触って怪我をする物ではいけない、同じ素材で違う物を作ると混乱させてしまうなど難しい選択です。現在は、うたの絵本を製作しています。

視覚に障がいのあるお子さんをお持ちの方やご存知の方、貸し出しも可能なので、「さわる絵本」に触れてみてください。

問い合わせ 泉南市立図書館 TEL482-7766

泉南市立図書館には、4つの図書館応援団（ボランティア）があり、そのうちのひとつに「さわる絵本」製作グループがあります。

2011年に「さわる絵本」を作る講座があり、その受講生たちが翌年1月に立ち上げ、現在は10名で活動中です。

活動場所 泉南市立図書館 2F
活動日時 第1土曜日
13時～15時

ボランティア募集中！



さわる絵本とは？

- 一番大事にしていることは、見える子も見えない子と一緒に楽しめる絵本→共通の体験ができる
- さし絵は触って実感できるように作る
- 大きな手書きの文字のそばに点字シールを貼る
- 原作では省略されたり簡素化されている絵は、補足をしてできるだけ実物に近くなるように作る
たとえば、葉っぱには葉脈、タコには吸盤をつける

うれしかったことは？

- 大阪府立大阪南視覚支援学校から、校外学習で水族館の「さわる展示」を体験するのに、『うみのなかまたち』を事前学習に使いたいとの依頼があり、役立ったこと
- メンバーでアイデアを出し合い、うまくいった時

ボランティアサロン
プリザーブドフラワーで
クリスマスリースを作ろう！
どなたでも参加できます！

日時 11月25日(金) 13時30分～15時
場所 泉南市ボランティアセンター
(あいびあ泉南 3F)

講師 安福 英子 さん
定員 25名(先着順)
参加費 1500円(材料費)
持ち物 ハサミ
受付 11月4日(金)～11月18日(金)
申込み 泉南市ボランティアセンター
(平日10時～16時)
TEL 483-0294 FAX 483-0353
泉南市社会福祉協議会
(平日9時～10時・16時～17時30分)
TEL 482-1027 FAX 482-1618

16cmほどのリースです

がんばったよ！

夏休み子ども手作り紙芝居教室

7月28日・29日 8月18日・19日



今回初めて参加した子どもたちは、緊張しながらも一生懸命“世界で一つ”だけの紙芝居を描きました。

最終日は、作りたての紙芝居をみんな

の前で発表し、無事終わりました。

平成15年から続けて来た「夏休み子ども手作り紙芝居教室」は、今回で最後となりました。永年のご支援ありがとうございました。

楽しいよ！



第13回 紙芝居まつり

ぼくもわたしも紙芝居屋さん

子どもたちの作った紙芝居作品の展示と発表会です。
楽しくて、力強い作品の数々。ぜひ見に来てくださいね！

日時 11月27日(日)
12時～16時 作品展示
13時～16時 作品上演
会場 泉南市立文化ホール 展示室
問い合わせ 泉南市社会福祉協議会
TEL 482-1027



紙芝居ボランティアグループ「拍子木」

ボランティア活動報告 8月～10月

- 8月22日(月) 紙芝居ボランティアグループ「拍子木」が、泉南市母子寡婦福祉会で紙芝居・バルーンアートを実演
- 9月10日(土) ボランティアセンター登録者が、救護施設りんくうみなとの「りんくうみなと祭り」でイラスト落語を披露
- 9月13日(火) ボランティアサロン実行委員会が、「高齢者にもやさしいヨーガ」を開催
- 9月15日(木) 訪問「そよ風」が、大阪府立泉南支援学校でレクリエーションの講師をしました
- 9月19日(祝) ボランティアセンター登録者が、馬場地区の敬老会で津軽三味線を演奏
手話サークル「虹」が、2市2町の交流会に参加
- 10月5日(水) 紙芝居ボランティアグループ「拍子木」が、泉南市地域子育て支援センター「ひだまり」で紙芝居・バルーンアートを実演
- 10月6日(木) ボランティア研修会を催行
- 10月15日(土) イオン黄色い幸せのレシートキャンペーン助成金贈呈式に代表者が参加
- 10月18日(火) 傾聴ボランティア養成講座を開催
- 10月20日(木) 音訳ボランティアが、泉州朗読ボランティア交流会に参加
- 10月24日(月) 泉州ブロック研修交流会を開催

編集の窓

「また、始まるね。」と近所の人に声をかけられる。古土を再利用する準備をしていた。人に勧められて菊作りを始めたのは二十数年前。無謀にも大菊三本立て、十鉢からのスタート。小菊や福助も仲間入りして、わが家の狭いガレージでは、車と菊と自転車が場所を取り合う。菊作りは春のさし芽に始まる。

り、水、肥料、消毒、植替えなど晩秋の片づけまで長丁場の作業。暇さえあれば菊の所へ。『菊は人の足音をきくとも』。花の出来は、その年その年いろいろ。何年しても思うようにいかない。そこが、また、おもしろい。

松岡初子

